

平成 29 年 7 月 6 日

モデル建物法入力支援ツール 変更点 (Ver. 2.3.2 → Ver. 2.3.3)

以下の変更を行いました。計算結果に影響はありません。

- 1) 入力シートをアップロードした際に、自動的に計算を実行するように変更。
- 2) 全熱交換器が「無」の場合においても、様式出力 (PDF) に「全熱交換効率」が表示される問題を解消。
- 3) 複数用途集計ツールにおける「既存部分」の評価において、以下の説明文を掲載。

既存建築物の増改築時の評価において、既存部分の外皮や設備仕様の入力を省略し、既存部分はデフォルト値 (BEI=1.2) であるとして評価を行う場合のみ、この欄に既存部分の床面積を入力する。これに該当しない場合は「0」のままとする。

なお、増改築部分の一部が計算対象外である場合など、増改築部分の床面積と計算対象面積が一致しない場合は、本ツールでは適切な評価結果が得られない (本ツールでは、増改築部分の床面積と計算対象部分が一致するとして計算を行っている)。これに該当する場合は、当面の間、手計算で建築物全体の BEI を算出していただきたい。

建築物全体の $BEI = 1.2 \times \text{既存部分の床面積} / \text{延べ面積} + \text{増改築部分の BEI} \times \text{増改築部分の床面積} / \text{延べ面積}$

なお、本件については、Ver2.4 (平成 29 年 10 月公開予定) よりプログラムで計算ができるように機能を拡張する予定である。

以 上